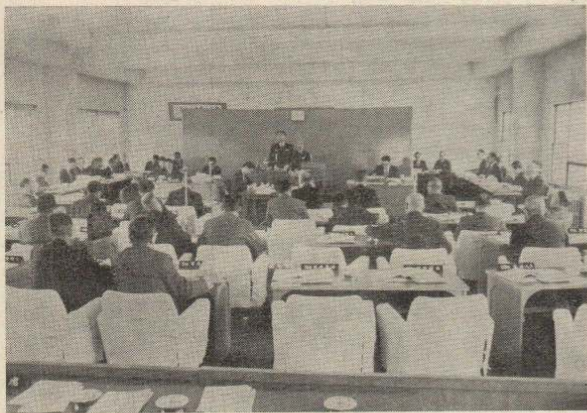


すめる今年予算



大館商工会議所、花矢商工会の補助に 1,917
 大館商工会館の建設補助に 10,000
 中小企業育成資金の貸付に 40,000
 御成町災害復興の貸付に 4,000
 大館・大滝観光協会などの補助 2,598
 観光施設等の整備基金に 4,050
 観光パンフレットの発行に 1,000
 1万本桜の苗木購入、植樹事業に 6,068

土木費

市道各路線の補修費として 22,000
 砂利などの購入に 10,000
 市道の舗装と改良工事に 102,485
 <舗装> 深沢1号, 餅田←→土貝, 御成町2丁目内の4線, 谷地町南町, 柄沢, 長里, 山館, 立花, 花岡公民館, 川古町労働会館前(214号), 東台ヤクルド(89号)の1.5線
 <改良> 山館児童館線, 小釈迎内, 板子石, 粕田, 松原, 小坪川原, 只越, 赤石沢路切の8線
 道路改良のための用地購入 11,457
 曲田橋(つり橋)の解体に 800
 街灯切り替えのため(250灯) 1,450
 街灯の電灯料金代として 3,000
 御成・中道児童公園新設, 長根山運動公園の用地購入などに 73,000
 墓地公園の地質調査などに総額 4,941
 舟場下水道事業に 36,200
 大館火災復興事業の換地委託料など 8,953

総括表

本年度予算額	前年度予算額	比較
71,461,497	65,271,497	6,190,000
449,006	390,547	58,459
743,317	510,620	232,697
280,687	233,626	47,061
48,684	45,717	2,967
175,069	235,084	△ 60,015
99,212	83,208	16,004
383,406	523,765	△ 140,359
185,649	106,384	79,265
527,722	552,996	△ 25,274
98,242	18,069	80,173
250,319	238,158	12,161
55,643	36,021	19,622
14,563	15,560	△ 997
3,382,980	3,055,026	327,954

御成町火災復興の整地工事に 2,000
 市営観音堂住宅建設(16戸)に 22,436
 がけ地近接危険住宅の移転補助などに(6戸) 7,354

消防費

広域消防建設と事務費の負担等に 155,529
 防火貯水そう新設に(3カ所) 3,000
 小型動力ポンプ購入に(2台) 800

教育費

大館市私学連への補助として 660
 大館工業高校, 南高校の定時制へ寄附金として 850
 桂城小学校第3期建設工事に(屋内体育館も含む) 139,306
 有浦小学校のプール建設に 12,540
 城南小学校の給食室建設に 19,656
 青年団, 連合婦人会, 環境づくり市民運動協, ポーイスカウなどへの補助 1,226
 中央公民館建設の調査費 100
 十二所公民館新築のため 22,987
 文化財の保護に 1,443
 図書館の図書購入に 1,900
 テレビ難視聴地域解消の工事に(岩本, 清水川集落・新沢集落) 1,200
 スポーツ主事, スポーツ振興審議会委員の新設のための報酬 370
 市営球場のダックアウト改造に 700
 長根山スキー場の側こう修理に 200

災害復旧費

過年度発生した農業災害の復興に(小滝地区水路など36カ所) 91,931
 過年度発生した林業災害の復興に(平内沢林道など5カ所) 2,953

諸支出金

市有林の下刈, 新植などの造成事業に 6,653
 公営企業の助成のため総額 49,281

食肉センター特別会計

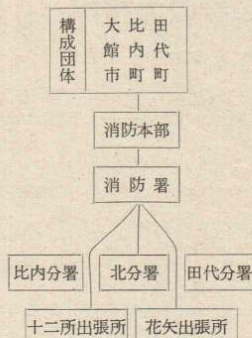
食肉センター建設事業費として(川口地内) 110,489

昭和47年7月, 本市と比内町, 田代町の一市二町で, 関係住民の日常生活圏を一本化した行政をすすめるということから, 広域市町村圏の設定を受け将来のビジョン策定などの事務を行なっています。

広域市町村圏が最初に取り組んだのは広域行政機構による常備消防体制の構想を明らかにすることでしたが, この計画案も順調にすすみ, 本市ははじめ比内, 田代の議会の了承も得られたため, 4月1日から待望の広域消防が発足することになりました。

これまでも, 本市と比内町, 田代町の間では相互応援協定のもとに有事に対処してきましたが, 今度の広域消防の発足は圏域内の防災, 救急体制を組織的に確立したもので, 防災活動の広域化の面からみても, 一市二町にとっては画期的なできごとといえます。

広域消防組織



機構改革

課および室設置条例が9年ぶりに一部改正されました。今年の改正等は行政需要の増大と社会情勢の変化に伴って新しい仕事が増えているため, 課の新設や名称の変更を行ない, 行政事務の能率をはかろうとしたもので, 4月1日から実施されます。

<新しい課>
 職員課(人事, 職員団体の仕事)
 土木課(土木, 失業対策の仕事)
 都市開発課(都市計画
 公園, 下水道, 建築, 市営住宅の仕事)

<名称が変わった課>
 商工課→商工観光課
 徴収課→収納課
 公害課→環境保護課
 収入役室→出納室

<改正額>
 ▼住宅の全焼, 全壊, 流失の場合
 (4月~9月) (10月~3月)

災害見舞金の額引き上げ

住宅が全焼した場合などに市が見舞金を出していますが, この見舞金の額が全焼, 全壊の場合は平均2,880円, 半焼半壊の場合は平均1,210円それぞれ引き上げされ, 4月1日から実施されます。

▼住宅の全焼, 全壊, 流失の場合

1人世帯	5,800円	9,200円
2人 "	7,300	11,800
3人 "	10,500	16,300
4人 "	12,500	19,000
5人 "	15,800	24,000
6人以上1人増すごとに	2,200	3,200

◆消防本部は根下戸地内に

広域常備消防の実施により正式な名称は「大館周辺広域市町村圏組合消防本部(署)」となり, 消防本部は根下戸地内に新築されるほか, 比内町扇田と田代町早口には分署が新築されます。

また, 釈迎内板子石にある北分遣所は北分署とし, 花岡と十二所にはそれぞれ出張所が設置されます。

大田比館代内 広域消防発足

消防署員は91人に

広域消防の発足によって消防署の職員は, 広域市町村圏組合の職員になります。消防署の職員は, 広域消防発足前の署員(比内と田代には署員の配置はない)より26人増やし, 91人にする予定です。

署員の配置計画は, 消防本部(署)に51人, 比内分署12人, 田代分署12人, 北分署10人, 十二所出張所4人, 花矢出張所2人になる見込みです。

◆事業費は約

2億5,400万円

本部庁舎をはじめ比内, 田代分署はいずれも鉄筋コンクリート2階建てで, この建築費の総額は約1億400万円, それに消防施設の整備費約1,100万円, 経常経費の約1億3,700万円を含めると2億5,400万円にもおよびます

◆消防機械の規模

常備消防の機械力は, はしご車1台, 水そう付消防自動車3台, 普通ポンプ自動車5台, 救急車と広報車各1台となり比内分署と田代分署には新しい消防自動車を1台ずつ配置してスタートします。

また, 消防専用の無線電話は, 固定局2, 移動局が10局の規模になります。

▼半焼, 半壊, 床上浸水の場合

	(4月~9月)	(10月~3月)
1人世帯	2,000円	3,000円
2人 "	2,700	4,100
3人 "	4,100	5,800
4人 "	5,000	6,900
5人 "	6,400	8,700
6人以上1人増すごとに	800	1,100

奨学資金は月額1万円に

旧花矢町地域に居住していた大学生だけに貸しつけていた育英資金(4月1日から奨学資金に名称変更)は, 4月からは全市域に拡大されます。

奨学資金を借りられる方は, 正規の修業年限が4年または6年の大学に入学している方で, 貸しつけ額は月1万円(いままでは2,500円)になります。

社会体育係の事務は

市民体育館で

このたびの市役所機構改革にともない市民の皆さんの便宜をはかり能率をあげるため, 市教育委員会社会体育係の事務をすべて市民体育館内に集中し執務することになりました。

したがって, 市民の体育, スポーツ, レクリエーションに関することは市民体育館内, 社会体育係(電話0310)で事務が行なわれます。

<主な仕事>

- ①スポーツ振興審議会 ④体育指導委員会
- ②市体育協会 ⑤スポーツ少年団
- ③スポーツ教室 ⑥武道館
- ⑦市民プール ⑧市営球場 ⑨有浦スポーツ館
- ⑩その他市民の体育行事などに係ることなどを扱っています。